

4月
新講座

世界シネマ紀行

実話をもとにした名作映画 1930~1940年代

ほんとうにあった話を映画化することは、映画界における斬新なアプローチです。ドキュメンタリと違って、また小説やドラマなどのフィクションを映画化するのと違って、「現実」を映画にするときには特有の規則が出現します。時代とともに「どんな実話が映画化されるか」という傾向も、変化していきます。今回のシリーズでは、1930~1940年代の実話映画に焦点をあてて、その舞台やロケ地となったスポットも鑑賞しながら、世界シネマ紀行の旅に出ましょう。

★講座終了後に無料映画鑑賞(30分程度)があります。
★4月から始まる6か月講座(8月休講)です。

講師	映画・文学研究家 筑波大学教授 今泉容子
開講日	第3土曜日 13:00~14:30
受講料	6ヵ月(5回) 16,000円+税

平成30年4月~平成30年9月
カリキュラム (8月休講)

【4月21日】アメリカⅠ

『科学者の道』(1935) ★ルイ・パスツール
『巨星ジグフェルド』(1936)
★フローレンツ・ジグフェルド



『巨星ジグフェルド』

【5月19日】アメリカⅡ

『若き日のリンカーン』(1939)
★エイブラハム・リンカーン
『キュリー夫人』(1943) ★マリ・キュリー



『キュリー夫人』

【6月16日】アメリカⅢ

『アメリカ交響楽』(1945)
★ジョージ・ガーシュウィン
『ジャンヌ・ダーク』(1948)
★ジャンヌ・ダルク



『ジャンヌ・ダーク』

【7月21日】ドイツ・オーストリア

『別れの曲』(1934)
★フレデリック・ショパン
『未完成交響楽』(1942)
★フランツ・シューベルト



『未完成交響楽』

【9月15日】日本

『小島の春』(1940) ★小川正子
『王将』(1948) ★坂田三吉



『王将』

今泉容子(いまいずみ・ようこ)



- ★文学博士(アメリカ・イエール大学から取得)。
- ★映画研究や文学研究の分野で招聘講演や著書が多数。
- ★京都大学、名古屋大学、筑波大学、ケンブリッジ大学、ハーバード大学、北京大学、オタワ大学、国際会議(アメリカ、アイスランド、カナダ、ポルトガル、イギリス)などで講義。
- ★『映画の文法』、『スクリーンの英文学』、『日本シネマの女たち』、『ブレイク』などの単著。
- ★内閣府の共生社会政策・国際交流事業に関与。「世界青年の船」(アラビア半島まわり)に乗船して教官をつとめるなど、世界の青年たちと深く交わる。
- ★『世界人名事典2018年版』(Marquis Who's Who)に日本人として掲載される。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。

名古屋・栄 中日文化センター
Culture & Communication 中日新聞
フリーダイヤル
0120-53-8164 10:00~19:00
日曜日は17:00まで
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F